

## 第5期金沢ささえあいプラン（素案）に対する区民意見募集の実施結果

第5期金沢ささえあいプランの策定にあたり、区民の皆様の意見を反映するために意見募集を実施しました。貴重なご意見・ご提案をいただきありがとうございました。

### 1 実施概要

#### (1) 募集期間

令和7年4月11日（金）～令和7年5月16日（金）

#### (2) 周知方法

##### ア 素案冊子・概要版の配布・配架

区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地区センター、  
コミュニティハウス、図書館、地区社会福祉協議会 他

##### イ 関係団体等への説明

連合町内会連絡協議会、区社会福祉協議会理事会・評議員会、  
地区社会福祉協議会事務局長会議、民生委員児童委員協議会、  
保健活動推進委員会、食生活等改善推進委員会、青少年指導員協議会、  
スポーツ推進委員連絡協議会、環境事業推進委員会、  
障害者自立支援協議会、シニアクラブ連合会、小・中学校長会 他

##### ウ 広報媒体

区・区社会福祉協議会ホームページ、ぼたんちゃん通信、金沢区X（旧 Twitter）、  
広報よこはま4月号

##### エ その他

区庁舎1階売店跡地でのパネル展（4月11日～5月16日）

### 2 実施結果

#### (1) 回答者数

30人

#### (2) 意見の提出方法

電子申請フォーム 8人、電子メール 1人、専用ハガキ 21人

#### (3) 意見総数

44件

分類	件数
1 ご意見を踏まえて素案を修正したもの	10件
2 意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの、または素案に賛同いただいたもの	19件
3 今後の検討の参考とさせていただくもの	9件
4 その他意見・感想等	6件

## 1 ご意見を踏まえて素案を修正したもの

No	ご意見	対応の考え方
1	「インクルーシブ遊具広場」とは何か、用語の説明がほしい。	いただいたご意見を踏まえ、「インクルーシブ遊具広場」について、P15 に補足説明を追記しました。
2	「福祉保健活動拠点」はどこにあるのか、場所の説明がほしい。	いただいたご意見を踏まえ、「福祉保健活動拠点」について、P26 に補足説明を追記しました。
3	ICT とは何か補足の説明がほしい。	いただいたご意見を踏まえ、「ICT」について、P26 補足説明を追記しました。
4	高齢化率の定義の説明がほしい。	いただいたご意見を踏まえ、「高齢化率」の定義について、P39 に補足説明を追記しました。
5	障害があっても、認知症になっても住みたい町に住めるよう支援を充実してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、認知症のチームオレンジに関する取組を計画に掲載しました。学校での福祉教育、認知症サポーター養成講座や障害理解・啓発を目的とした出前講座等を通じて、地域住民の理解を促進し、「同じ街の住民」としての意識を醸成していきます。あわせて、認知症や障害の有無に関わらず、地域において自分らしく、自らの望む生活を送ることができるよう切れ目のない支援体制の構築を目指していきます。
6	これから増える認知症について、安心して過ごせるための取組についても知りたい。	いただいたご意見を踏まえ、認知症の本人とともに暮らしやすいまちづくりに関する取組を計画に掲載しました。
7	出生数（人）のポイントの説明「就労している女性が増え、生産年齢も高くなっています」という記載について、根拠を示すべき。	いただいたご意見を踏まえ、ポイントの説明を統計データから読み取れる内容に変更しました。
8	障害者手帳等交付数のポイントの説明について、「心の病を抱えて通院している人が増えている」という記載は大まかであり、根拠を示すべき。	いただいたご意見を踏まえ、ポイントの説明を統計データから読み取れる内容に変更しました。
9	推進の原動力の情報発信については、自分のように情報発信があまりできず、受	推進の原動力については、三つの推進の柱の取組を進めるにあたり意識することであるため、

	<p>け取る側もいると思うため、「情報」だけでも良いのではないか。</p>	<p>「情報」ではなく「情報発信」としています。いただいたご意見を踏まえ、受け取る側の視点を大切にし、情報発信する旨を計画に記載しました。</p>
10	<p>障害児・者の学校や自立支援の事業所等が様々あり、「自立支援協議会」の説明・組織図、「金沢区基幹相談支援センター」等の支援機関の説明と共に関係性などが図で示されているとわかりやすい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、自立支援協議会の組織図を掲載しました。なお、P71に基幹相談支援センター、生活支援センター、障害者後見的支援室の説明を掲載しています。</p>

## 2 意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの、または素案に賛同いただいたもの

No	ご意見	対応の考え方
11	<p>少子高齢化、若い夫婦の共働きなどで子供会活動が難しくなっており、子供会の存続が危ぶまれており、解決方法の提示があるとよい。</p>	<p>子ども会は自主的な活動を行う任意団体であり、現在、本市に子ども会の窓口となる部署はなく、解決方法の提示等をすることは困難です。地域で子どもを育てることについては、区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、取組を進めていきます。</p>
12	<p>近所のお友達がいなくなり、話し相手が少なくなっている高齢者が、近所で花や野菜を育てたり、ランチをしたりする環境がほしい。</p>	<p>現在も地域の方々が中心となってサロンや茶話会、趣味活動が行われています。引き続き、身近な地域で気軽に参加できる場の選択肢を増やせるよう活動を支援していきます。なお、地域の方々が中心となって行うサロンや趣味活動の場の情報等を、ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビというウェブサイトで見られる他、お住まいの地区を担当している地域包括支援センターへも相談いただけます。</p> <p>また、金沢区民活動センター「ゆめかもん」で区内のグループ・団体情報の提供を行っている他、地域の方が気軽に立ち寄ることができるよう“地域の居場所”としてコミュニティサロンがありますのでご活用いただければ幸いです。</p>
13	<p>「つながろう」「ふみだそう」「いきいきと」の柱にもとづいて、地域での取組を</p>	<p>ささえあいプランは地域にお住まいの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活</p>

	進めていくことが重要だとこの素案を読んで思った。思いだけでなく、データにも触れられているところも良い。	動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。
14	第5期の推進の柱である、つながろう、ふみだそう、いきいきと、というテーマはすごく良い。	ささえあいプランは地域にお住いの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。
15	社会福祉協議会が行ったひとり親家庭向けのフードドライブで、食品受取が多く、「子育て」「生活苦」という二重の大変さを持っている家庭も多い。ささえあいプランにおいても、こういった「生活苦」への視野を入れてほしいし、行政としても見捨てない取り組みを期待する。	生活困窮世帯への支援は引き続き課題として捉えており、行政による支援制度や社協の行う食支援、資金貸付等を通じて取り組んでいきます。あわせて、地域の皆様とも協力しながら困りごとを抱えている方の相談を受け止め、相談の内容に応じて部署を超えて対応できるネットワークや支援体制の構築に努めていきます。
16	20年近く前から子育てを支援する養育者・地域・関係機関・行政からネットワークがあったことを知り、ソフト面の支援の充実も大きかったのだと感じた。これからも良い取り組みを続けてほしい。	引き続き、社会状況や子育て・子育てのニーズを捉えながら必要な取組を進めていきます。
17	つながろう、ふみだそう、いきいきと、など非常にわかりやすく好感が持てる。地域で様々な形で活動している人達の支えになってほしい。	ささえあいプランは地域にお住いの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。
18	推進の柱のつながろう、ふみだそう、いきいきとを掲げているのはとてもやる気、元気が出て、前向きな印象を受け、良いと思う。	ささえあいプランは地域にお住いの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。
19	認知症・MCIに関する勉強会や認知症サポーター等の支援者の育成、後見人制度	認知症高齢者数の増加を踏まえ、認知症等に関する勉強会、認知症サポーター養成、成年後見

	などの取組が少ないと感じる。取組の強化をお願いしたい。	制度の周知や利用促進等、認知症に関する取組について、地域ケアプラザ等と連携して取組の強化を進めていきます。
20	子どもの意見は計画に反映されているか。	計画策定にあたり、当事者意見として子どもへのヒアリングや中学生アンケートを実施し意見を反映しています。これらの内容は、計画のP7に記載しています。
21	第4期計画の成果のまとめをみたい。	第4期計画の振り返りとして、主な成果と第5期計画に引き継がれる課題を計画のP5に記載しています。
22	高齢者に対する見守りのIT化について、行政側が一步踏み出せていない印象がある。しっかりとした指導があれば、SNSによる見守り活動は十分可能だと思う。	横浜市では、令和7年4月よりICT機器を活用した民間の見守り・安否確認サービスの支援が開始されています。いただいたご意見をもとに更なる取組の検討を進めていきます。
23	山坂の多い地区に住んでいる高齢者は、商店がなくなったことで日常の買い物に困っている。何か支援があったらよいと思う。訪問販売車が来ているところもあるがアピールが足りない。	引き続き、地域ケアプラザ等とも連携し、地域ニーズの把握を行い、買い物困難なエリアに対する生活支援を進めていきます。
24	プレママ・プレパパが参加できるサロンやイベント、講習会などが土・日にあると良い。	土曜日に開催しているプレママ・プレパパが参加できるイベントとして、沐浴や赤ちゃんのお着替え等の体験ができるプレパパ・プレママ教室を区役所で月2回開催しています。 今後は、子育て支援に係る関係機関で構成される「健やか子育て連絡会」を通じて、土・日にプレママ・プレパパが参加できるサロンやイベント等の開催を検討するとともに、地域の土日開催しているサロンやイベントの情報を地域子育て支援拠点と連携して収集・発信していきます。
25	子ども（小学生から高校生）が学校以外に相談できる場所をつくってはどうか。例えば、月に1回町内会館やコミュニティハウス、地区センターなどで個別に話を聞く日を設ける。民生委員としてヤン	こどもが学校以外に相談できる場所として、区役所ではこども家庭支援課で子育てやこどもの育ちに関するさまざまな相談をお受けする「こども家庭相談」を実施しています。また、よこはま南部ユースプラザの社会福祉士等が不登校

	<p>グケアラー、LGBTQ、貧困、虐待、その他の悩みを聞いてあげたい。子どもカフェとしてお茶しながら話をできる場をつくるものよと思う。</p>	<p>や引きこもりなどさまざまな問題について相談を受ける「若者のための専門相談」（予約制）も月2回実施しています。このほか、こども青少年局が実施している青少年相談センターにおける電話相談・来所相談、よこはま子ども・若者相談室（LINE 相談）などでも相談をお受けしています。</p>
26	<p>高齢者等の買い物をサポートするボランティアのシステムがあると良い。</p>	<p>買い物や移動の支援については、様々なニーズがあることを認識しています。移動販売やガイドボランティア等、既存制度・サービスに加え、ニーズに合わせた取組の創出や地域ボランティアとの連携による対応を進めていきます。</p>
27	<p>地域活動の担い手が不足している。区役所やケアプラザ等でもやりがい、楽しさ等を働きかけてほしい。</p>	<p>地域活動の担い手不足については地域の課題の一つとして考えています。地域活動を始めてみたい人のきっかけづくりや趣味や特技を活かした地域活動への参加を促すため「地域活動の担い手発掘プロジェクト」を立ち上げ、区役所・地域支援チーム・地域の皆さんとで協働でアンケート活動などの取組を開始しました。また、地域活動の楽しさややりがいを伝えるため、地域情報広報紙『ハーモニー』の発行など広報活動を行っています。</p>
28	<p>内容が高齢者向きになっている。小学校から大学までの学生との関わりをもっと増やす取組を期待する。</p>	<p>ささえあいプランは地域にお住いの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。</p>
29	<p>第5期計画の三本の柱はとてもわかりやすく、住み良い町、元気な町、子供たちの声が聞こえる町、安心して暮らせる町、どの年代の方にも住んでよかったと思える町、そんな町を目指せたら良いと考えます。区役所、区社協の方々と一緒に5年後もっともっと素敵な金沢区になるようにしていきたい。</p>	<p>ささえあいプランは地域にお住いの全世代を対象としたものです。より多くの世代が地域の活動に参加できるような働きかけも大切です。区役所、関係機関が連携し、地域の皆様とともに協働しながら、支えあいのまちづくりに向け取組を進めていきます。</p>

### 3 今後の検討の参考とさせていただくもの

No	ご意見	対応の考え方
30	若いファミリー層が、「この街で子育てしたい、住み続けたい」と思ってもらえる区になって欲しい。子育てしやすい環境であることはもちろんですが、週末楽しめるところが多い、通勤しやすいなど課題に取り組んでほしい。	金沢区に子育て世代をはじめ多くの方に居住していただけるよう、区の魅力を発信するとともに、いただいたご意見も参考にしながら、課題解決に向けた取組を進めていきます。
31	「中学生に向けワークシートで地域を考える」がとても素晴らしい取組だと思う。今後、小学生版のワークシートを作成して小学5年生～6年生の総合の時間で取り組んでほしい。	中学生のみならず、小学生のうちから、自分の住んでいる地域を知り、今、自分にできることを考えることは、支えあいのまちづくりに向け、望ましい取組と考えます。小学生版のワークシートの作成については、今後の取組の参考とさせていただきます。
32	イオン(民間)が無料送迎バスを運行していますが、バス停ではなくもう少し地域密着の巡回小型電気バスなどの交通手段を今後検討してほしい。	横浜市都市整備局で実施している横浜市地域交通サポート事業等の活用を含めて、いただいたご意見も参考にしながら、課題解決に向けた取組を進めていきます。
33	10代から50才代の年齢層をターゲットにした活動も取り入れた方が活性化すると考えるので、スポーツ団体を巻き込んだイベントやスポーツ団体が主催する場合には補助を出す等の支援も必要ではないか。	現在、スポーツ活動団体が開催する個別の行事を対象とした補助制度はありません。一方で、スポーツ推進委員や区スポーツ協会により、あらゆる世代の区民を対象としたスポーツの行事が実施されています。それらの団体には区役所から補助を行っており、各種行事には区役所が共催・後援をして地域でのスポーツ振興を図っています。
34	商店街の空き店舗を活用した交流の場ができれば良い。	商店街の賑わいづくりや活性化については、イベント開催時の補助や広報協力などの支援を行います。 また、区役所では区民の皆様による空き家等を活用した多世代の交流、子育て支援、高齢者の生活支援等、身近な地域の課題解決や地域の活性化に向けた取組を支援する「金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業補助金」制度があります。制度の周知に努めるとともに

		新たな取組を始められる方の支援を行っています。
35	当事者の意見とヒアリングの人数が少なすぎて参考にならないのではないか。スポットでのアンケートではなくもっと広いアンケートでないと役に立たない。	当事者・支援者インタビューに加え、区民意識調査、地域の会議や子どもから聞かれた意見を踏まえて、計画を策定しています。ヒアリングやアンケートの実施方法については今後の計画策定の参考とさせていただきます。
36	大型スーパーや商業施設で高齢者や子どもに「コンシェルジュ」活動、荷物やカートの一時預かり、支払いの手伝いなどがあると良い。	いただいたご意見は、今後の計画推進の参考とさせていただきます。
37	地域の独居高齢者や高齢夫婦を中学生数名がグループとなり、高齢者を担当し、万が一の時関わってくれと心強い。	中学生の活躍への期待は、地区別計画の検討の場でも多く聞かれています。積極的にあいさつをしてくれたり、隣近所を気にかけてりする等、普段の暮らしの延長でできることはたくさんありますので、そうした取組を広げていきたいと考えています。 本計画を通じて、身近な地域の中で気になる人に寄り添って、必要があれば支えあえるまちづくりを進めていきます。
38	高齢者の見守りを行ううえで、個人情報の問題はあると思うが、玄関に名札（かかりつけ病院、服薬、緊急連絡先）等あれば便利だと思う。	令和6年10月から「もしも手帳」のカバーの中に、病気やケガをしたときの緊急連絡先やかかりつけ医等を記載する「救急あんしんカード」を挟み込み、救急要請時に適切な医療機関への搬送や迅速な応急処置につなげられるような取組みを行っていますのでご活用ください。

#### 4 その他意見・感想等

No	ご意見	対応の考え方
39	若いファミリー層が、「この街で子育てしたい、住み続けたい」と思ってもらえる区になって欲しい。子育てしやすい環境であることはもちろんですが、週末楽しめる場所が多い、通勤しやすいなど課題に取り組んでほしい。	金沢区に子育て世代をはじめ多くの方に居住していただけるよう、区の魅力を発信するとともに、いただいたご意見も参考にしながら、課題解決に向けた取組を進めていきます。

40	<p>「中学生に向けワークシートで地域を考える」がとても素晴らしい取組だと思う。今後、小学生版のワークシートを作成して小学5年生～6年生の総合の時間で取り組んでほしい。</p>	<p>中学生のみならず、小学生のうちから、自分の住んでいる地域を知り、今、自分にできることを考えることは、支えあいのまちづくりに向け、望ましい取組と考えます。小学生版のワークシートの作成については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
41	<p>イオン(民間)が無料送迎バスを運行していますが、バス停ではなくもう少し地域密着の巡回小型電気バスなどの交通手段を今後検討してほしい。</p>	<p>横浜市都市整備局で実施している横浜市地域交通サポート事業等の活用を含めて、いただいたご意見も参考にしながら、課題解決に向けた取組を進めていきます。</p>
42	<p>10代から50才代の年齢層をターゲットにした活動も取り入れた方が活性化すると考えるので、スポーツ団体を巻き込んだイベントやスポーツ団体が主催する場合には補助を出す等の支援も必要ではないか。</p>	<p>現在、スポーツ活動団体が開催する個別の行事を対象とした補助制度はありません。 一方で、スポーツ推進委員や区スポーツ協会により、あらゆる世代の区民を対象としたスポーツの行事が実施されています。それらの団体には区役所から補助を行っており、各種行事には区役所が共催・後援をして地域でのスポーツ振興を図っています。</p>
43	<p>商店街の空き店舗を活用した交流の場ができれば良い。</p>	<p>商店街の賑わいづくりや活性化については、イベント開催時の補助や広報協力などの支援を行います。 また、区役所では区民の皆様による空き家等を活用した多世代の交流、子育て支援、高齢者の生活支援等、身近な地域の課題解決や地域の活性化に向けた取組を支援する「金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業補助金」制度があります。制度の周知に努めるとともに新たな取組を始められる方の支援を行っています。</p>
44	<p>当事者の意見とヒアリングの人数が少なすぎて参考にならないのではないかと。スポットでのアンケートではなくもっと広いアンケートでないと役に立たない。</p>	<p>当事者・支援者インタビューに加え、区民意識調査、地域の会議や子どもから聞かれた意見を踏まえて、計画を策定しています。ヒアリングやアンケートの実施方法については今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>